

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年上半期分：速報)

<対世界>

○輸出総額:6兆338億円(伸率:+0.9%) ⇒ 9期連続のプラス

- ・順位:3位

(順位は、昭和54(1979)年上半期以降(93期)による。以下同じ。)

- ・増加品目:船舶(同+14.1%)、半導体等製造装置(同+6.7%)

○輸入総額:5兆652億円(伸率:▲5.5%) ⇒ 4期連続のマイナス

- ・順位:7位

- ・減少品目:石炭(同▲32.7%)、金属鉱及びくず(同▲9.3%)

○差引額:9,686億円(伸率:+56.1%) ⇒ 4期連続の輸出超過

- ・順位:7位

2025年上半期:149.47円/ドル(2024年上半期:150.89円/ドルと比べ0.9%の円高)

<品目別動向>

○輸出

船舶(2,699億円→3,079億円、伸率:+14.1%)は、パナマ(844億円→1,459億円、同+72.8%)及びバハマ(87億円→280億円、同3.2倍)向けが大幅に増加し、8期連続のプラスとなった。

また、半導体等製造装置(4,663億円→4,978億円、同+6.7%)は、台湾(304億円→610億円、同2.0倍)及び韓国(2,086億円→2,378億円、同+14.0%)向けが増加し、7期連続のプラスとなった。

一方、自動車(1兆6,617億円→1兆6,048億円、同▲3.4%)は、アメリカ(5,302億円→3,538億円、同▲33.3%)及び中国(3,999億円→3,620億円、同▲9.5%)向けが減少し、2期連続のマイナスとなった。

○輸入

石炭(1,826万MT→1,697万MT、伸率:▲7.1%、5,283億円→3,553億円、同▲32.7%)は、オーストラリア(1,202万MT→1,107万MT、同▲7.9%、3,417億円→2,353億円、同▲31.1%)及びカナダ(156万MT→131万MT、同▲16.2%、627億円→319億円、同▲49.1%)からが減少し、4期連続のマイナスとなった。

また、金属鉱及びくず(5,841億円→5,295億円、同▲9.3%)は、鉄鉱石(2,083億円→1,571億円、同▲24.6%)が減少し、3期ぶりのマイナスとなった。

一方、重電機器(294億円→575億円、同+95.7%)は、EU(42億円→260億円、同6.2倍)及び台湾(5億円→37億円、同7.4倍)からが著しく増加し、6期連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同期比